

令和3年度 白鳩チルドレンセンター八雲中事業計画

1. 概要

①運営方針

- 1年以上経過しても、収束の兆しが見えないコロナ禍において日々の保育内容や行事内容を大きく見直し、中止や縮小を余儀なくされる中、令和3年度においても引き続きコロナウイルスに怯えながらの運営をしなければならない状況ですが、園児や保護者、地域のためにできる限り最大限のことを行っていきたいと思います。
- 守口市においては全体での待機児童数がゼロとなっているものの、1～2歳児の受け皿が足りていない現状ですが、各園とも保育士不足から受入れができないことも要因の一つとなっています。
- 2年度は保育士確保ができず0歳児の受入数が定員に満たすことができませんでしたが、3年度は新規採用保育士も確保できたことから、年度当初各クラス定員以上の受入れでスタートできます。また、離職者も少ないことから園児、保護者にとっても安心できる材料となっています。
- 保育内容においては、「保育の一日の流れ」、「朝の意味ある運動」の内容精査と現状までの総括を行い、園内、園外の研修も積極的に受講し保育の質の向上を目指します。
- 保育室、設備、備品などの劣化や補修箇所が目立つため、優先度の高い給食室の吸排気設備、1歳児室の床材張替工事を優先的に補修する必要があります。

②利用定員 129名

利用児童数	1号認定	16名（定員15名）	
	2号認定	74名（定員63名）	
	3号認定	54名（定員51名）	合計144名

③開園日数 293日（日曜、祝日及び12月29日から1月3日は休園） 教育週数 42週

④開園時間 平日7:00～20:00 土曜日7:00～19:00

⑤保育時間

★2号3号認定児

平日	早朝保育	7:00～8:30	土曜	早朝保育	7:00～8:30
	通常保育	8:30～16:30		通常保育	8:30～16:30
	延長保育	保育短時間児 16:30～20:00			16:30～19:00
		保育標準時間児 18:00～20:00			16:30～19:00

★1号認定児

平日	早朝保育	7:00～9:00
	通常保育	9:00～13:30
	預かり保育	13:30～20:00

⑥職員数

園長 1名、 主幹保育教諭 2名、 看護師 1名、 保育教諭 18名

障がい児加配 4名（うちパート2名）

子育て支援センター事業 保育教諭3名（パート） 延長保育事業 保育教諭（パート） 3名

一時預かり事業 保育教諭（パート） 1名

預かり保育教諭 保育教諭（パート） 1名

その他保育補助 3名（うち子育て支援員2名）

学校内科医・学校歯科医各1名（年各2回検診実施） 学校薬剤師1名（年2回検査実施）※嘱託

2. 教育保育運営

①教育・保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②教育・保育方針

- 社会福祉法人白鳩会保育メソッド・一日の保育の流れを中心に、子どもたちが主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として『生きる力』を育む。
- 在園児および地域の子育て支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

③教育・保育目標

乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

④クラス体制

（3号認定）

0歳児	12名	職員4名＋パート職員
1歳児	18名	職員3名＋パート職員
2歳児	24名	職員4名＋パート職員

（2号認定）（1号認定）

3歳児	24名	7名	職員3名
4歳児	25名	5名	職員2名＋障害児加配パート1名
5歳児	25名	4名	職員2名＋障害児加配パート1名

子育て支援センター	職員 3 名（パートタイム職員）
早朝・延長保育	職員 2 名（パートタイム職員）
保育補助者	職員 3 名（うち 2 名パートタイム職員※子育て支援員）

⑤教育・保育内容

- 活動中、集中が持続せず落ち着かない子どもが増えています。保育の仕方や子どもへの関わりについて「保育の一日の流れ」のマニュアルに沿って丁寧な関わりができているか、保育の現場を確認しながら見直しをしていきます。
- 「朝の意味ある運動」や「夕方運動」を行い、脳内ストレスを発散し一日落ち着いて過ごせるようにします。また、体をたくさん動かすことで、食事をしっかり食べ、十分に睡眠が取れる生活習慣を身に付け、生き生きと活動し自分の力が発揮できるようにしていきます。
- 子どもの体力や自分の身を守る運動機能を向上させるため、安田式遊具の研修で受けた「走る、転がる、とび跳ねる」の原野運動と「ぶら下がる、渡る、登る」の樹上運動を取り入れた運動遊びを考え、子どもが十分に身体を動かすことが出来る環境を整え継続して取り組んでいきます。
- 乳児のじゃれつき遊びの時間には、子どもとの愛着関係を構築し、人を信頼する気持ちを育て心の安定につなげていきます。また、保育者自身も子どもの発することに受容的、応答的にかかわることで子どもの気持ちが分かるようにしていきます。
- 乳児期からのリトミックの積み重ねが幼児期へとつながっていくという考えをもとに、子どもの発達に合わせて手先、足先、腕、脚、全身の筋肉をくまなく使い運動機能を高めていきます。また、リズム感や瞬発力を養っていきます。
- 年間を通して「生き物」「水」など子どもの興味のあることをテーマに決め、テーマ保育に取り組みます。自分の考えを発表したり、新しい発見を楽しんだり、自分で気づくことに喜びを感じることができる活動に年間を通して取り組んでいきます。
- 栽培活動、クッキングなどの食育体験を生活の一部として日々の保育の中に取り入れていきます。五感を使って子ども達が様々な形で食にかかわる体験をすることで「食べるのが大好きな子ども」に育てていきます。

⑥家庭との連携

- クラス懇談会（年 2 回）個人懇談会（年 1 回）就学前個人懇談会（1 回）、保育参加（年 1 回／人）
リトミック参観（乳児・幼児 年 1 回）
- 日々行っている保育の意図や内容について、お便りや掲示物などで保護者が理解しやすい形で保育内容や行事の状況を情報発信します。
 - 配慮が必要な子どもについては、関係機関（保健センター、わかすぎ園）と連携し、訪問支援事業や発達相談の機会を設けます。また、OT/P Tの巡回指導を受けるなどきめ細かい対応を行います。4 歳児で行われる 5 歳健診の結果については、保健センターと連携しながら発達相談につなぐなど就学に向けての取り組みを行います。

⑦人材育成

- 3年目～5年目の職員をクラスリーダーに起用し、「保育の一日の流れ」をもとに次世代リーダーを育成していきます。クラス運営や保護者対応、職員同士の連携など園長、主幹保育教諭を中心に話し合いを行いリーダーとしてのスキルを身に付けていきます。
- 保育者のコミュニケーション能力が低下していることを踏まえ、職員会議やリーダー会議などで互いに意見を言う場をつくり、コミュニケーション能力を高めていきます。
- 第三者評価の評価基準を職員全体で自己評価を行う中で、マニュアルや保育方法の見直しを行います。
- リトミックについては、昨年度講師を招いてリトミック研修を行ったので今年度も継続して実施し、日々のカリキュラムの役立てとします。
- 外部に出た研修が減少していますが、WEB研修を活用し、普段研修にいけないパート職員も参加するなどより多くの職員が参加し、専門的な知識を身に付けていきます。
- 安田式遊具を用いた運動遊びについては、WEB研修の参加や講師を招いての研修会を行い、年齢発達に応じた運動あそびの指導法や集団遊びの進め方について学びます。学んだ内容については指導計画にとり入れ、保育者も一緒に体を動かし遊ぶことで、園全体が活性化するようにします。

⑧地域の実態に対応した事業

※いずれの活動も新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更・中止の場合があります。

●地域子育て支援センター事業（センター型）

- ・園内ホールを開放し、親子教室の開催をし、親子で楽しめる遊びや子育て支援に関する情報の提供をします。
 - ・定期的に親子ヨガや体育遊び、英語遊びなどの講師を招き親子で楽しむことのできるプログラムを実施します。また、保護者のみ対象の講座としてアンガーマネジメント講座を初開催します。
 - ・保育相談などを受付、必要に応じて保健センターなど関係機関とも連携し子育て支援をします。
- ※いずれも新型コロナウイルス感染症の拡大状況により受入数や内容の変更をします。

- ・活動内容は毎月のおたより、ホームページ、守口市広報紙を通じて地域に情報発信します。
- ・近隣の認定こども園3か園、保育士養成校と合同で地域の子育て中の親子対象に遊びの提供や講演会など年3回「遊びの広場」を開催します。（毎回約60組を予定）

●地域とのかかわり

- ・守口市の伝統野菜である守口大根を地域の方から栽培指導をしていただき、守口東高校の学生と一緒に栽培します。また、年間を通じて守口東高校の生徒の保育体験を受け入れ、交流を行います。
- ・子どもの健康に関する情報交換や、子育てに関する相談業務を中野こども病院と連携して行います。
- ・5歳児は就学先の小学校に授業見学や交流会に参加します。授業見学後に、就学先の校長、教頭、担当教諭と意見交換する機会を持ち、子どもの育ちや生活や学びの実情について相互理解できるようにします。

⑨苦情処理

- 第三者委員の設置について、入園説明会、園のガイドブック、ホームページや園内掲示、クラス懇談会（5月）を通じて保護者に知らせます。
- 「苦情申し出窓口」として主幹保育教諭が受付担当者、園長が責任者として、「意見箱」「アンケート」など保護者からの意見や要望に対しては24時間以内に対応します。また、対応途中のものに関しては途中経過を随時伝えます。

⑩リスクマネジメント

- 危機管理委員会を中心に見直しを行った「危機管理マニュアル」、「保健マニュアル」については、職員研修計画に基づき、園内研修で職員に周知徹底できるようにします。
- 消防署と連携し、総合災害訓練（年1回）、通報訓練（年2回）を行います。また、子育て支援を利用する地域の方と合同での災害訓練を行います。
- 災害時は隣接する守口東高校が一時避難場所となるため、合同での避難訓練を行い避難方法について確認します。
- 災害時の対応については、保護者にも重要事項説明書やクラス懇談、ガイドブックで丁寧に伝えるとともに、災害を想定した引き渡し訓練（年1回）も行うなど、保護者と連携して災害に備えます。
- 非常時の園児受け入れ先として、近隣の企業や病院、介護施設に使用させていただけるよう依頼し、日ごろから進行、連携します。
- 「安全管理年間計画」に基づき、危機管理委員会が中心となり、安全管理と園児への安全指導を月1回実施します。
- ヒヤリハットの事例について収集し、危機管理委員会が事例をまとめ、毎月の職員会議の場で事例を共有し、事故防止に役立てます。
- 日本赤十字社、守口市消防署の救急救命講習に職員が参加し、緊急時の対応に備えます。また、SIDS（年2回）やアレルギー対応〈エピペン〉については、看護師が中心となり研修を行います。
- 備蓄品リストをもとに災害備蓄品の点検（年1回）を行います。（園児引渡表・非常持ち出し袋・倉庫備品・アレルギー児用備品など）
- 警察機関と連携して職員への防犯実施研修（年2回）園児への防犯指導（年1回）を行います。

⑪工事等修繕及び備品購入の予定

1歳児室床クッションシート張替工事	1,100,000円
給食室吸排気工事	900,000円
各保育室へのパソコン整備	980,000円
電子ピアノ購入	660,000円

⑫その他

- 人材確保のために、民間企業や守口市認定こども園会が主催する保育士対象の就職フェアへ出展し、新卒学生の採用に繋がりたいと思います。
- 福祉サービス第三者評価の受審をし、園の運営管理と保育についての評価をもらい改善をすることで質の向上を図ります。